

平成22年梅雨期の豪雨災害に関する緊急要望

本年6月上旬から7月下旬にかけての梅雨期に発生した集中豪雨では、広島県庄原市をはじめ全国各地で土石流や河川はん濫が発生し、多くの尊い人命が奪われるとともに、道路や河川の損壊は勿論、家屋の全半壊や床上・床下浸水など大きな被害をもたらし、住民の生活と農業をはじめとする地域の産業に甚大な被害を及ぼしています。

よって、国においては、被害の実情を十分勘案し、下記事項について適切に対処されるよう強く要望します。

記

1 激甚災害の早期指定

早期に「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく指定を行い、必要な財政措置等を講じること

2 災害復旧事業の早期採択等

被災地の早期復旧を図るため、災害復旧事業の早期採択を行うとともに、再度災害を防止するための災害関連事業を積極的に推進すること

平成22年7月

鳥取県知事	平	井	伸	治
島根県知事	溝	口	善	兵衛
広島県知事	湯	崎	英	彦
山口県知事	二	井	関	成